

[print](#) | [export](#)

Publication number: JP2002041862 A2
Publication country: JAPAN
Publication type: APPLICATION
Publication date: 20020208
Application number: JP20000222059
Application date: 20000724
Priority: JP20000222059 20000724 ;
Assignee^{std}: UNITED ABILITIES KK ;
Inventor^{std}: ISHII SHINSUKE ;
International class¹⁻⁷: G06F17/60 ; G06F13/00 ;
International class⁸: G06Q30/00 20060101 I C ; G06Q30/00 20060101 I A ; G06F13/00 20060101 I C ; G06F13/00 20060101 I A ; G06Q50/00 20060101 I C ; G06Q50/00 20060101 I A ;
Title: ELECTRONIC COMMERCIAL TRANSACTION SYSTEM FOR AUCTION USING INTERNET
Abstract: PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic commercial transaction system capable of providing a user with the width of selection of article prices as well as a discount negotiation to articles when the user is to purchase these articles.SOLUTION: A banner advertisement 33 displaying the user on a web page p1 is counted by the program of an auction site and on the basis of this count number, the user decreases the successful bidding price of the article of successful bidding.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-41862

(P2002-41862A)

(43)公開日 平成14年2月8日(2002.2.8)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ターマコード ⁸ (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 6	C 0 6 F 17/60	3 1 6 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C
	3 2 4		3 2 4
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 P

審査請求 有 請求項の数9 O L (全 11 頁)

(21)出願番号 特願2000-222059(P2000-222059)

(22)出願日 平成12年7月24日(2000.7.24)

(71)出願人 500342802

株式会社ユニテッド・アビリティーズ

東京都杉並区永福3-57-16

(72)発明者 石井 真介

東京都杉並区永福3-57-16 株式会社ユニテッド・アビリティーズ内

(74)代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

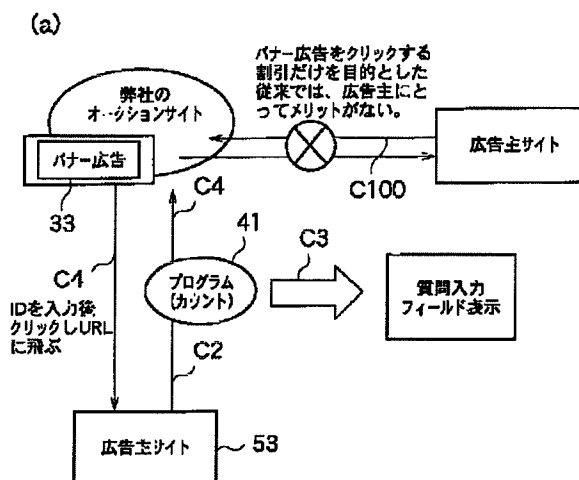
Fターム(参考) 5B049 BB36 BB49 CC38 FF03 FF09
GC09

(54)【発明の名称】 インターネットを用いたオークションの電子商取引システム

(57)【要約】

【課題】 ユーザが商品を購入する際に、それらの商品に対する値引き交渉と同様に、ユーザに商品価格の選択の幅を与えることが可能となる電子商取引システムを提供する。

【解決手段】 ユーザがウェブページp 1に表示されたバナー広告33をオークションサイトのプログラムがカウントし、このカウント数に基づいて、ユーザが落札した商品の落札価格を減額する。



(b)



【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告主サイトとオークションサイトと各ユーザ端末とをインターネットで接続したシステムにおいて、

前記オークションサイトは、

ウェブページ上に、取り扱い商品に関する情報、該商品の入札するための入札アイコン、および広告主のウェブサイトにリンクが張られているバナー広告を表示するウェブページ表示手段と、

前記入札アイコンの選択後に前記バナー広告がクリックされたとき、そのクリック数をカウントするバナークリックカウント手段と、

前記バナークリックカウント手段がカウントしたバナー広告のクリック数を前記広告主サイトに送出するクリック数送出手段と前記ユーザ端末からの前記商品の入札価格と前記クリック数とを対応させて記憶し、前記商品の入札価格で落札したときは、前記クリック数に基づいて前記落札価格を割り引いて前記ユーザに知らせる商品価格減額手段とを有することを特徴とするインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項2】 前記ウェブページ表示手段は、さらに、ユーザを判別するためのユーザ識別番号を入力する識別番号入力フィールドを表示し、該識別番号に前記クリック数を対応させて前記広告主サイトに送信することを特徴とする請求項1記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項3】 前記ウェブページ表示手段、前記バナークリックカウント手段、および前記商品価格減額手段はウェブサーバ上に設けられており、

前記バナーのクリックによって生じる前記識別番号、商品名、クリック数、入札価格からなるログは、前記ウェブサーバとは別に設けられているデータベースサーバに蓄積されることを特徴とする請求項2記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項4】 前記バナー広告にリンクした広告主サイトには、

前記バナー広告に対応させた該広告主側の複数種の質問と、その回答を入力する入力フィールドを表示する表示手段と、

前記バナー広告がクリックされたとき、前記バナー広告の前記複数種の質問からいずれかを前記ユーザ端末に送出する手段と、

前記質問に対する前記ユーザからの回答が正解かどうかを判断し、その結果を前記オークションサイトに知らせる手段とを備え、

前記オークションサイトは、

前記広告主サイトから前記質問に対して正解であることが知らせられると、前記商品の落札時における割引カウントを起動させてカウントさせる手段と、

前記商品が落札されたときは、該落札価格を前記割引カ

ウントのカウント値に応じて減額する手段とを有することを特徴とする請求項1、2又は3記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項5】 前記広告主サイトは、

前記質問に対する前記ユーザ端末からの回答が不正回の場合は、前記オークションサイトを介さないで前記ユーザ端末に直接不正回を知らせることを特徴とする請求項1、2、3又は4記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項6】 前記広告主サイトは、

前記ユーザ端末に対して不正回を知らせた後に、同じユーザ端末が同じバナー広告をクリックし、その質問に対しての回答が所定回不正回となったときは、当該広告主サイトへのアクセスを不許可にすることを特徴とする請求項1、2、3、4又は5記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項7】 前記オークションサイトは、

前記各バナー広告に対しての各ユーザ端末からのクリック数の蓄積数と、該蓄積数に応じた運営実績料金を送信することを特徴とする請求項1、2、3、4、5又は6記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項8】 前記広告サイトにおける質問の順番は、ランダムに代えていることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6又は7記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【請求項9】 前記ウェブページ表示手段は、さらに、ユーザが商品の入札価格を入力する入札価格入力フィールドを表示し、

一定期間の間に該入札価格入力フィールドに入力された金額のうち、最も高い金額を最上位に表示すると共に、その金額入力したユーザに対して、落札金額として前記クリック数と共に知らせるオークション手段を有することを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7又は8記載のインターネットを用いたオークションの電子商取引システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、オークションの電子商取引システムにおいて、商品の落札価格の割引率をユーザが決定できるインターネットを用いたオークションの電子商取引システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、インターネットの急速な普及により、インターネット上のウェブサイトによる商品や様々なサービスの売買などが行われるようになってきている。このようなインターネット上のウェブサイトによる商品やサービスの売買を電子商取引と称する。

【0003】従来の電子商取引のウェブサイトにおいては、インターネットの利点、例えば人材費や店舗費など

のコストの軽減などにより、多くの場合、一般市場価格よりも安い価格で商品が提供されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の電子商取引のサイト、例えば主にサイトのウェブページ上に紹介されている商品の中から、ユーザが希望の商品を指定して購入するショッピングサイトは、そのサイトに掲示されている価格でしか購入することができない。

【0005】また、ユーザがウェブサイトのページ上に掲示されている商品に対して、任意に希望の価格を付け、多数の購入希望者の中から最も高い値段を付けたユーザに対して、商品を購入させるオークションサイトでは、落札時の値段により商品を購入しなければならない。このため、これらの電子商取引においては、一般の商店のように、ユーザが商店の販売員と交渉することにより、同じ商品であっても、場合によっては値引き販売されるといったユーザが値段を交渉する余地がないという問題があった。

【0006】本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的としては、ユーザが商品を購入する際に、それらの商品に対する値引き交渉と同様に、ユーザに商品価格の選択の幅を与えることが可能となる電子商取引システムを提供することである。

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、上記課題を解決するため、広告主サイトとオークションサイトと各ユーザ端末とをインターネットで接続したシステムにおいて、前記オークションサイトは、ウェブページ上に、取り扱い商品に関する情報、該商品の入札するための入札アイコン、および広告主のウェブサイトへのリンクが張られているバナー広告を表示するウェブページ表示手段と、前記入札アイコンの選択後に前記バナー広告がクリックされたとき、そのクリック数をカウントするバナークリックカウント手段と、前記バナークリックカウント手段がカウントしたバナー広告のクリック数を前記広告主サイトに送出するクリック数送出手段と、前記ユーザ端末からの前記商品の入札価格と前記クリック数とを対応させて記憶し、前記商品の入札価格で落札したときは、前記クリック数に基づいて前記落札価格を割り引いて前記ユーザに知らせる商品価格減額手段とを備えたことを要旨とする。

【0007】この発明は、ユーザがバナー広告をクリックした回数に応じて、商品の落札価格を減額することで、ユーザに対する商品価格の選択の幅を持たせることを可能しようとするものである。

【0008】また、ウェブページ表示手段は、さらに、ユーザを判別するためのユーザ識別番号を入力する識別番号入力フィールドを表示し、該識別番号に前記クリック数を対応させて前記広告主サイトに送信すること要旨とする。

【0009】また、前記ウェブページ表示手段、前記バ

ナークリックカウント手段、および前記商品価格減額手段はウェブサーバ上に設けられており、前記バナーのクリックによって生じる前記識別番号、商品名、クリック数、入札価格からなるログは、前記ウェブサーバとは別に設けられているデータベースサーバに蓄積されることを要旨とする。

【0010】つまり、ウェブページにユーザの識別番号を入力するための入力フィールドを表示して、ここに入力された識別番号ごとにバナー広告をクリックした回数を蓄積することで、個別に識別番号が与えられたユーザに対してのみ、商品価格の減額を可能にしようとするものである。

【0011】また、前記ウェブページ表示手段、前記バナークリックカウント手段、および前記商品価格減額手段はウェブサーバ上に設けられており、前記バナーのクリックによって生じる前記識別番号、商品名、クリック数、入札価格からなるログは、前記ウェブサーバとは別に設けられているデータベースサーバに蓄積されることを要旨とする。

【0012】この発明は、ウェブページ表示手段、バナークリックカウント手段、および商品価格減額手段が設けられているウェブサーバとは別に設けられているデータベースサーバ上に、バナークリック数をユーザ別に記憶するバナークリック数記憶手段を設けることにより、ウェブサーバにかかる負荷を軽減しようとするものである。

【0013】さらに、前記バナー広告にリンクした広告主サイトには、前記バナー広告に対応させた該広告主側の複数種の質問と、その回答を入力する入力フィールドを表示する表示手段と、前記バナー広告がクリックされたとき、前記バナー広告の前記複数種の質問からいずれかを前記ユーザ端末に送出する手段と、前記質問に対する前記ユーザからの回答が正解かどうかを判断し、その結果を前記オークションサイトに知らせる手段とを備える。

【0014】前記オークションサイトは、前記広告主サイトから前記質問に対して正解であることが知らせられると、前記商品の落札時における割引カウントを起動させてカウントさせる手段と、前記商品が落札されたときは、該落札価格を前記割引カウントのカウント値に応じて減額する手段とを備えたことを要旨とする。

【0015】また、前記広告主サイトは、前記質問に対する前記ユーザ端末からの回答が不正回の場合は、前記オークションサイトを介さないで前記ユーザ端末に直接不正回を知らせることを要旨とする。

【0016】また、前記広告主サイトは、前記ユーザ端末に対して不正回を知らせた後に、同じユーザ端末が同じバナー広告をクリックし、その質問に対しての回答が所定回不正回となったときは、当該広告主サイトへのアクセスを不許可にすることを要旨とする。

【0017】この発明は、バナー広告をクリックすることで、一旦広告主のサイトへ行った後、この広告主のサイトから戻るときに、そのサイトに関連する情報を正確に入力フィールドに入力した場合にのみ、もとのサイトへ戻れるようにすることで、広告主のサイトに掲載されている情報をユーザに、より確実に覚えてもらえるようにしていると共に、不正にクリックして落札価格の割引率を下げることを防止したものである。

【0018】また、前記オークションサイトは、前記各バナー広告に対しての各ユーザ端末からのクリック数の蓄積数と、該蓄積数に応じた運営実績料金を送信することを要旨とする。

【0019】これによって、オークションサイトは、ユーザに落札価格を割り引いても、利益を上げられる。

【0020】また、前記広告サイトにおける質問の順番は、ランダムに代えていることを要旨とする。これによって、ユーザが確実に商品の広告をいなければ、正しい回答を送ることができなくなる。

【0021】さらに、前記ウェブページ表示手段は、さらに、ユーザが商品の入札価格を入力する入札価格入力フィールドを表示し、一定期間の間に該入札価格入力フィールドに入力された金額のうち、最も高い金額を最上位に表示すると共に、その金額入力したユーザに対して、落札金額として前記クリック数と共に知らせるオークション手段を有することを要旨とする。

【0022】この発明は、オークションサイトにおいて、最も高額値付けをした落札者においても、その後バナー広告をクリックすることにより落札額を減額させることができるようにして、オークションによる購入者であっても、落札後、実際に支払う購入金額に選択の幅を持たせることが可能となるようにしようとするものである。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、本発明を適用した実施の形態を添付した図面を参照して説明する。

【0024】図1は、インターネット全体を含んだネットワークの構成を示す図面であり、図2は、このネットワークにおいて、ウェブサイトとして電子商取引のサイトを運営するためのサーバの構成を示すブロック図である。

【0025】まず、図1を参照して、電子商取引のためのウェブサーバ1は、インターネット9に、LAN回線3、ルータ5、および電話回線7を介して接続しており、また、様々なユーザの端末51が、同様にインターネット9に接続している。さらに、インターネット9には、後述する広告主のサイトを運営するためのサーバ53も接続されている。

【0026】本実施の形態において、ウェブサーバ1はオークションサイトを運営するためのサーバである。ウェブサーバ1は、図2に示すように、所定のプログラム

が実行されることによってウェブサーバ1の各種機能を制御するCPUなどからなる制御部11と、インターネット9を介してアクセスしてきたユーザの端末51から入力されるデータを制御する入力制御部13と、信号の出力制御を行なう出力制御部15と、各種記憶装置17、19、および21とから構成されている。

【0027】ここで、記憶装置17には、メインプログラムが記憶されている。かかるメインプログラムは制御部11において実行されることで、例えば、ユーザの端末51からのアクセスに対応して、オークションサイトのページを表示させ、また、ユーザからの要求に応じて、オークションサイトの内容から、例えば文字検索によりオークションにかかっている商品の情報や、現在のせり値などの情報をウェブページ上に表示させる。

【0028】また、メインプログラムは、それが制御部11に実行されることで、ユーザ識別番号を入力するための入力フィールド、ユーザが商品落札のために金額を入力する入札価格入力フィールドなどを表示し、これらの入力フィールドに入力された値を取得する機能と提供する。

【0029】さらに、メインプログラムは、広告主からあらかじめ依頼されたバナー広告をページ上に表示すると共に、そのバナー広告のクリック数をカウントするための機能も提供する。

【0030】記憶装置19には、キャラクタファイルが記憶されている。かかるキャラクタファイルは、表示用文字データやオークションサイトのページを表示するのに必要な画像アイコンなどであり、前記メインプログラムの実行により、これらキャラクタが読み出されて、オークションサイトのページが表示される。

【0031】記憶装置21には、商品に関する情報などのファイルが記憶されている。かかる商品情報ファイル23には、このオークションサイトに掲示される商品を提供した企業の情報や、その企業が望む商品の取引方法、入札期限、商品を落札した人や落札時間などが詳細に記録されている。

【0032】ウェブサーバ1には、図3に示すように、データベース(DB)サーバ31が接続されている。データベースサーバ31は、ウェブサーバ1により表示されているページ上のバナー広告が、ユーザ55によって何回クリックされたかをユーザごとに蓄積するためのものである。

【0033】これは、バナー広告をクリックすることにより、購入した（またはこれから購入する）商品が割引されることから、多くのユーザ55が、バナー広告をクリックすることが予想されるため、これをもし、ウェブサーバ1のみで管理した場合に、そのための負荷が多くなって、サイトの運営や制御に支障を来すことにもなりかねないため、別途、専用のデータベースサーバ31を設けたものである。

【0034】図3において、ユーザ55は、ウェブサーバ1により運営されているオークションサイトのページにアクセスし、バナー広告33をクリックしたことで、そのクリック数を記録するためのログファイル35が生成される。このバナー広告33がクリックされたことは、オークションサイト上で行われるために、一時的にログファイル35はウェブサーバ1上に格納されるが、すぐにウェブサーバ1と連結してあるデータベースサーバ31に転送されて、そこでユーザごとに蓄積される（例えばユーザ名、ユーザアドレス、バナー広告名、クリック数等が対応させて記憶される）。

【0035】また、このクリック数を記録したログファイルは、バナー広告33ごとにも集計されて、その回数、各広告主に対する広告料を請求するための基礎となる。そして、この広告料が、商品価格を減額するための原資となる。

【0036】一方、バナー広告をクリックすることでユーザの端末に表示されるページは、広告主のサーバ53によって出力されたページになる。

【0037】これにより、広告主サイトのページをユーザ55が見ることになり、バナー広告としての一つの目的は達成される。しかし、ユーザがバナー広告をクリックする目的としては、その広告に感心があってクリックする場合と、商品の割引だけを目的としてクリックする場合がある。

【0038】後者のような場合、ユーザが広告主のサイトへ行ったものの、すぐにもとのオークションサイトに戻ってしまったのでは、広告主にとっては、せっかく来てくれた客がそのまま帰ってしまったようなもので、あまりメリットのあることとは言えない。そこで、本実施の形態では、広告主のサイトに掲載されている情報をユーザに深く知ってもらうための工夫を用意している。

【0039】これは、例えば図4（a）に示すように、バナー広告をクリックしたユーザが広告主サイトのページに入った後、そのまま戻ってしまった場合（c10）には、広告主にとってメリットが少ない。そこで、ユーザがバナー広告をクリックすると広告主サイトのページに入る（c1）。

【0040】その後、もとのオークションサイトに戻るときに、広告主サイトを運営しているサーバで、広告主サイトの内容を質問するプログラム41が起動する（c2）。このプログラム41によって、広告主のサイトでは、広告主のバナー広告に関する質問と共に、その答えを入力するための入力フィールドがページ上に表示される（c3）。

【0041】ユーザはこの入力フィールドに質問に対する回答を入力することで、その回答が正解の場合、例えば、入力フィールドに入力された質問に関する文字列があらかじめ決められた文字列と同じ場合にのみ、もとのオークションサイトに戻ることが出来る（c4）。

【0042】広告主の情報に関する質問は、例えば、図4（b）に示すように、広告主サイトの商品に関する質問であり、その答えが入力フィールドに入力されて、正解を得られればオークションサイトに戻ることができ、誤答ならば広告主サイトのページが表示されたままとなり、オークションサイトへ戻ることができない。なお、この質問を表示するページには、例えば広告主が特に見てもらいたい情報について、質問に対するヒントの形を取り、見てもらいたいページへのリンクを設けておいて、そのページの中に質問に対する答えがあるようにして、ユーザがそれらの情報にたどり着き、かつ、覚えやすくする仕掛けをしておいてもよい。

【0043】次に、図5を参照して、ウェブサーバ1によって運営されるオークションサイトのページ移行例を説明する。

【0044】このオークションサイトにアクセスすると、最初にオークションサイトであることを示すトップページp1が表示される。このトップページp1では、商品分野別あるいは個別に特定の商品を検索するための文字列を入力するための検索フィールド、商品分野別にまとめたページp2への移行するための商品メニューアイコン、およびバナー広告が表示されている。

【0045】ここで、検索フィールドに文字列が入力されてクリックされると、検索動作p10が実行されて、商品の分野別検索結果では、商品を分野別にまとめた商品分野別ページp2へページが切り替わり、一方、個別商品の検索結果では検索された個別商品のページp3へ切り替わる。

【0046】また、商品メニューアイコンがクリックされた場合には、商品分野別ページp2へページが切り替わる。また、バナー広告には広告主のサイトにリンクが張られており、ここがクリックされると広告主サイト53のページが表示される。

【0047】商品分野別ページp2には、検索フィールド、他のメニューへの移行アイコン、および個別商品ページp3への移行アイコンが表示されている。ここで、検索フィールドに文字列が入力されてクリックされると、その結果として検索された個別商品のページp3へ切り替わる。また、他のメニューアイコンがクリックされた場合には、他のメニューページ（不図示）へページが切り替わる。また、移行アイコンがクリックされると、このページp2の分野における個別商品のページp3が表示される。

【0048】個別商品のページp3では、表示されている個別商品の詳細情報と、その商品に対してのオークションに入札参加できるようになっている。このために、この個別商品のページp3では入札者一覧、クリック数、および入札参加などが表示されている。

【0049】先の商品分野別ページp2には、さらに過去に落札した商品等の情報を示す落札情報ページp4

と、商品を掲示するため商品出品ページp5がリンクされている。落札情報ページp4では、落札した商品の受け渡し方法や落札者からの支払方法などを示す取引方法、落札時間、入札回数などが表示されている。

【0050】また、商品出品ページp5は一旦のユーザが直接入ることのできないオークションサイトを運営するウェブマスター専用のメンテナンスページであり、ここからオークションされる商品の出品が行われる。商品出品ページp5には、出品する商品の商品名、商品提供者、あらかじめ決められたオークション出発価格や競り値幅、あるいは定価などからなる商品価格が表示されている。

【0051】ここで各ページの実例を示す。

【0052】図6は、トップページp1の実例である。このページでは、商品検索アイコンと検索文字列入力フィールドT11、例えば電化製品、インテリア、旅行、自動車、ファッション、およびPC（パソコン）などの商品分野別に分かれた商品メニューアイコン群T13、様々な広告主のサイトとリンクされている複数のバナー広告からなるバナー広告群T15、および個人を識別するためのユーザID（識別番号）入力フィールドT17などによって構成されている。

【0053】このページでは、あらかじめ個人登録をしたユーザが、ID入力フィールドT7に登録時のIDを入力し、バナー広告のいずれかをクリックすることで、入力したIDごとにバナー広告のクリック数が蓄積される。そして、そのクリック数に応じて商品の購入価格が減額される。また、このページには、「仕組み」が用意されている。

【0054】図7は、商品分野別ページp2の実例である。このページでは商品検索アイコンと検索文字列入力フィールドT21、現在表示されている分野の個別商品へのリンクアイコンT23、現在表示されている商品分野のこれまでの落札情報へのリンクアイコンT25、このオークションサイトを運営するウェブマスターのみアクセス可能な商品出品ページp5へのリンクアイコンT27などによって構成されている。

【0055】図8は、個別商品のページp3の実例である。選択した商品の最低販売価格や商品提供もとなどの商品情報の表示T31、その商品に対して入札に参加している人の情報の表示T33、そして、商品の入札に参加するための入力フィールドT35で構成されている。入札情報の表示T33は、商品に対して高い値段を付けた人が上から順に掲載されている入札者の一覧である。また、入力フィールドT35は、入札価格、個人情報、およびパスワードの入力フィールドである。入札価格は、文字通り商品に対して支払う金額であり、個人情報は、例えばあらかじめ登録しているユーザにあっては、登録時のIDであり、このIDは、トップページp1のバナー広告群T15と共に表示されるID入力フ

ィールドT17に入力されるものと同じである。

【0056】パスワードは、登録ユーザであることを認証するためのものである。これらの各入力を行った後、「入札参加」アイコンをクリックすると、その名前が入札情報の表示T33に載ることになる。通常は、この時点における最高額以上の金額を入札価格として入力するため、最上位の入札者として入札情報の表示T33に掲載される。この図9のクリック数は落札価格が決定したときに表示するようにされている。

【0057】図9は、落札情報ページp4の実例である。このページでは、今まで入札した人のお買い得ランキングなどの情報が表示されている。ここで、お買い得ランキングとは、図示するように、商品の定価に対して、実際にオークションによって購入した金額の差が大きい（安い）ものほどお買い得で購入したことを示すものである。これは、オークションサイトの運営実績として、ユーザに、例えば、本オークションサイトを利用することで、一般市場価格（実際の商店における販売価格）より、安く商品を購入できることをアピールする役割がある。

【0058】図10は、商品出品ページp5の実例である。このページは、オークションを運営しているウェブマスターしかアクセスすることのできないページで、出品する商品情報の表示T51の他に、送品管理パスワードの入力フィールドT53などが表示されている。これは、落札者に対して提供する。

【0059】次に、図11を参照して、本実施形態の作用、効果を説明する。本例では予め広告主から広告情報がオークションサイトに送られているとする。

【0060】まず、ユーザがオークションサイトにアクセスする（S1）。オークションサイトのサーバでは、ユーザの要求を受けてトップページを出力する（S2）。これにより、ユーザの端末ではオークションサイトのトップページが表示される（例えば図6）。

【0061】ここで、ユーザがIDの入力と共にバナー広告をクリックすると（S3）、オークションサイトにプログラムに設けているカウンタ（図示せず）がクリック数をカウントし、このカウント値とユーザID、アドレスとを広告主サーバに送出し（S4）、バナー広告のリンク先にアクセス要求を送出する（S5）。

【0062】また、このとき、オークションサイトのプログラムは、ユーザがクリックしたバナー広告名とそのクリック数とを蓄積している。これは、後日、クリック数に応じた料金を広告主に要求するためである。

【0063】なお、ユーザIDが入力されることなく広告バナーのみがクリックされた場合でも、同様にバナー広告のリンク先へのアクセス要求が出力されるが、この場合、そのユーザに対しては購入商品額の減額対象とはならない（ここでユーザIDの入力がないと、商品を購入したユーザとバナー広告をクリックしたユーザとの対

応がわからないので、トップページにおいてユーザIDを入力していないユーザに対してはバナー広告をクリックしても減額することができない。)。

【0064】アクセス要求を受けた広告主サイトでは、アクセス要求に応じて広告主サイトの広告のページを出力する (S6)。これにより、ユーザの端末では広告主サイトのページが表示される。

【0065】ユーザは、一通り、その目的に応じて広告主サイトのページを見終わると、オークションサイトへ戻るために、戻るアイコンをクリックする (S7)。通常であれば、そのままのサイトのページへ戻ることになるが、ここでは、戻るアイコンがクリックされることで、広告主サイトのサーバにおいて、広告主の情報に関する質問とその答えを入力するための入力フィールドが設けられたページが出力される (S8)。

【0066】この質問に対して、ユーザが回答を入力すると (S9)、その回答が正解か否かが判断される (S10)。入力された回答が正解であれば、もとのオークションサイトへ戻る事ができる (S11)。

【0067】また、質問は様々であるが、この質問の順番は同じユーザがバナーをクリックする毎に順番がランダムに変える。例えば乱数を発生してその順番を代える。

【0068】オークションサイトのサーバでは、戻って来たことによりユーザの確認を行い (トップページp1で入力されたIDと、商品購入時に入力されたIDを比較)、バナー広告をクリックしたときと同じユーザで有れば、ここで初めて購入商品に対する価格減額のために、データベースサーバにバナー広告のクリック数 (価格減額用クリック数) をカウントして記憶する (S12)。そして、もとのトップページを出力する (S13)。

【0069】前述の広告主からの質問は、商品に対する様々な質問がなされ、その質問に対する回答が広告主では得られることになるから、これらの質問に対する回答を多数収集することで、商品のマーケット開発、次回の商品開発につながるというメリットが得られる。

【0070】一方、ユーザが入力した回答に誤りがあった場合には、不正解の表示と共に再度質問を表示して、そのまま広告主サイトの表示が継続される (S14)。

【0071】そして、もとのオークションサイトに戻るためには、質問に対して正解が得られるまで、このS8からS14までの処理が続くことになる。但し、3、4回までで本処理を終了する。この回数になっても正解が得られない場合は、価格減額用クリック数を更新しない。

【0072】そして、オークションサイトは後日、広告主サーバに対してバナー広告のクリック数と、広告名と、ユーザIDと、各ユーザの総クリック数を送出する (S15)。

【0073】以上のようにして本実施の形態では、ユーザは、商品を落札した後でも、広告主の提供するバナー広告をクリックした回数に応じて商品がさらに割引される。これにより、ユーザは希望する商品価格をある程度自由に自分で決めることができる。例えば定価20000円の商品を、15000円で入札し、めでたくこの価格で落札できた場合、従来は、購入価格が15000円のままとするが、本実施の形態ではさらにバナー広告をクリックして様々な広告主サイトをブラウジングすることで、例えば1クリック1%引きとすれば、20回バナー広告をクリックすれば、20%引きの価格、すなわち、12000円で購入することができるのである。

【0074】一方、広告主にとっては、ユーザが積極的にバナー広告をクリックしてくれることになるので、広告としての価値を高めることができる。また、一旦、広告主サイトへ来た後は、ユーザが広告主の情報に関する質問に正確に回答できなければもとのオークションサイトへ戻れないため、広告主がユーザに広く知ってもらいたい情報を確実にユーザに知ってもらうことが可能になる。

【0075】以上本発明を適用した実施の形態を説明したが、本発明はこの実施の形態に限定されるものではない。例えば、オークションサイトに限らず、商品を一定の価格で販売するようなショッピングサイトであっても好適に実施可能である。

【0076】

【発明の効果】以上説明した本発明によれば、商品の入札価格を入れてバナー広告をクリックし、その入札価格で落札された場合は、バナー広告のクリック数に基づいて商品の落札価格が減額されるため、ユーザにとっては、商品購入価格の選択の幅が広がるという効果が得られている。

【0077】また、本発明によれば、バナー広告のクリック数に応じて商品価格が減額されるため、これがユーザにとっての動機付けとなり、積極的にユーザが広告バナーをクリックしてくれることになるので、広告としての価値を高めることができるという効果が得られている。

【0078】さらに、本発明によれば、バナー広告をクリックしたとき、このユーザに対してバナー広告の商品に関する質問を行い、この質問に対して正解となったときに、クリック数 (割引カウンタ) を有効として落札価格をこのクリック数に基づく額で減額する。

【0079】このため、真にこの商品を購入する意志があるユーザのみが減額を受けることができるという効果得られている。

【0080】また、バナー広告に対するクリックがあったときは、広告主サイトは、そのバナー広告の商品に関する質問を行い、この質問に対する回答を収集するので、商品開発、商品販売等の効率に役立てることができ

るという効果が得られている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用した実施の形態に係るシステムをインターネットおよびユーザ端末などを含めて示すブロック図である。

【図2】上記システムにおけるウェブサーバの構成を示すブロック図である。

【図3】上記システムにおけるウェブサーバ、データベースサーバおよび広告主サーバを示すブロック図である。

【図4】広告主サイトでの動作を説明するための概念図である。

【図5】上記ウェブサーバによって運営されるオークションサイトのページ移行例を示す図面である。

【図6】上記ウェブサーバによって表示されるトップページの実例を示す図面である。

【図7】上記ウェブサーバによって表示される商品分野別ページの実例を示す図面である。

【図8】上記ウェブサーバによって表示される個別商品のページの実例を示す図面である。

【図9】上記ウェブサーバによって表示される落札情報ページの実例を示す図面である。

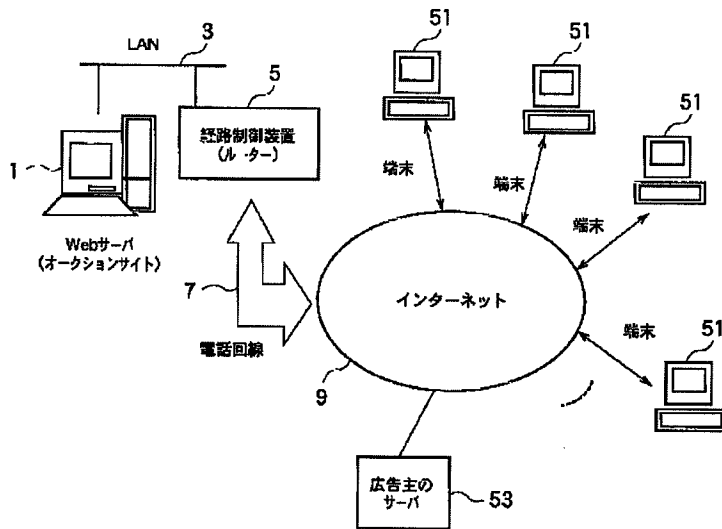
【図10】上記ウェブサーバによって表示される商品出品ページの実例を示す図面である。

【図11】全体の動作の流れを説明するための図面である。

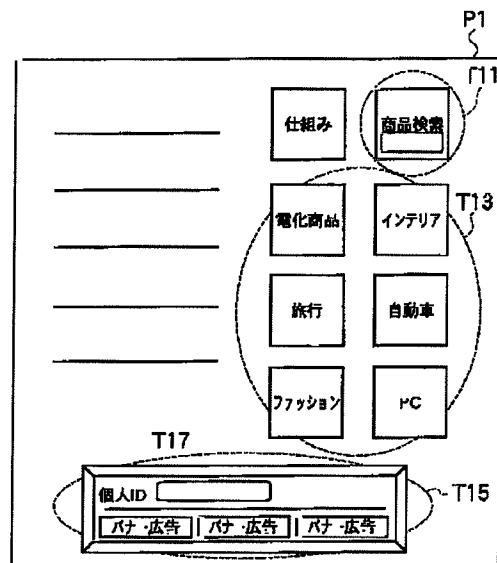
【符号の説明】

- 1 ウェブサーバ
- 3 LAN回線
- 5 ルータ
- 7 電話回線
- 9 インターネット
- 11 制御部
- 13 入力制御部
- 15 出力制御部
- 17、19、21 記憶装置
- 23 商品情報ファイル
- 31 データベースサーバ
- 33 バナー広告
- 35 ログ
- 51 ユーザ端末
- 53 広告主サーバ
- 55 ユーザ

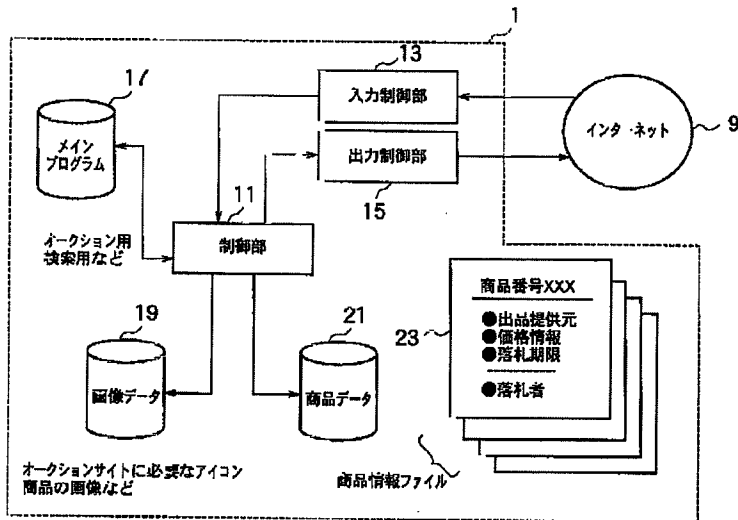
【図1】



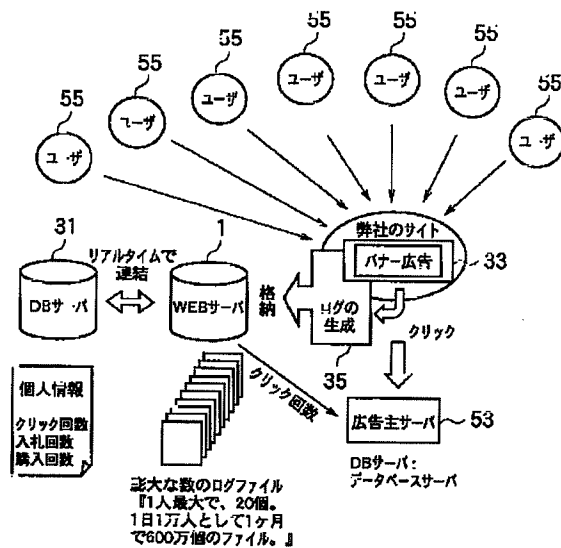
【図6】



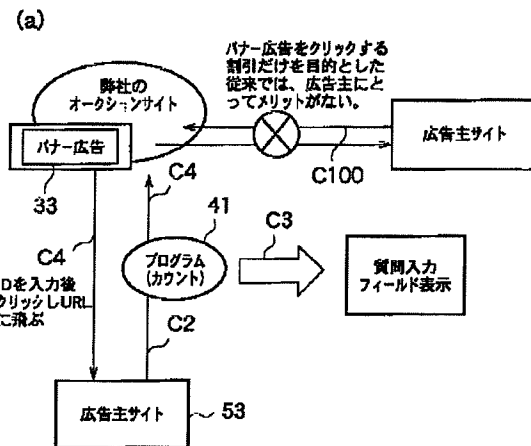
【図2】



【図3】



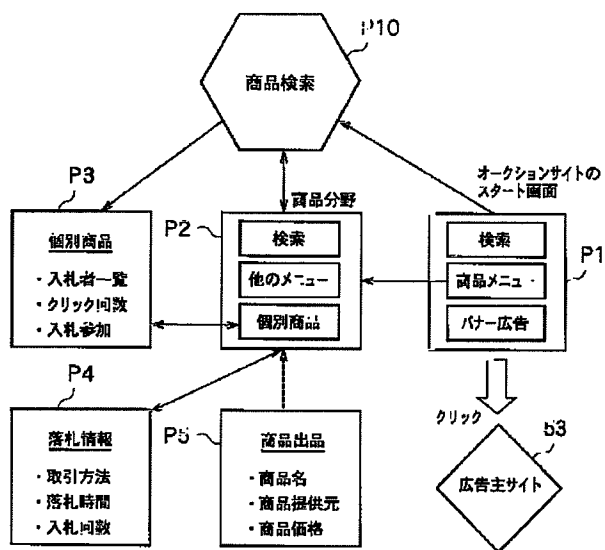
【図4】



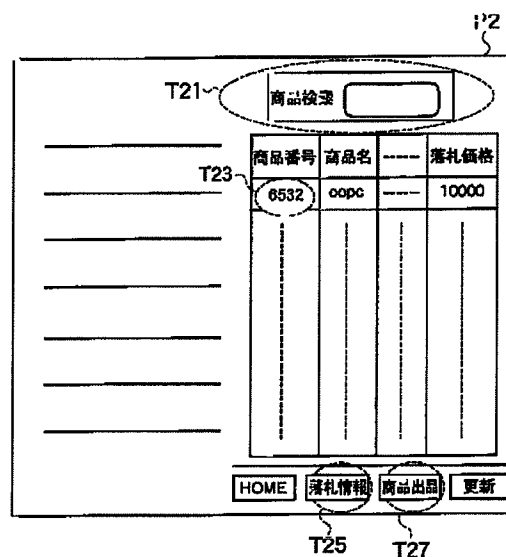
(b)



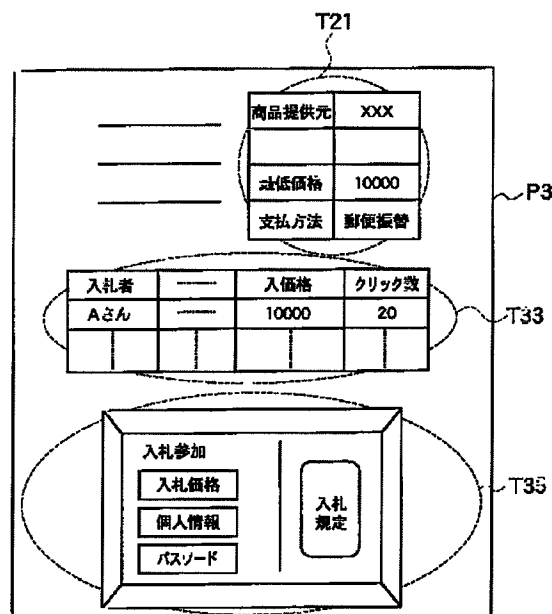
【図5】



【図7】



【図8】



【図9】

